

2020年9月21日

令和2年度 VOL. 7

《みのりの秋
収穫の喜び》

ステイホームの後だからこそ

「稻刈りとおだ掛け体験」参加者募集

国営ひたち海浜公園では、昔ながらの米づくりを学び、生物多様性に触れる「稻刈りとおだ掛け体験」を開催します。長靴から伝わる土の感触、鋸鎌で刈る稻の手ごたえ、イナゴやカナヘビなど生き物との出会い。水田には、子どもたちのワクワクがあふれています。みどりの中で体を動かし好奇心を刺激されることで、いきいきと輝く子どもたちの表情から目が離せません。



稻刈りの様子（2019年9月28日撮影）

◆農文化を体験「稻刈りとおだ掛け」

普段は立ち入れない「沢田湧水地」の奥にある水田にて、鋸鎌を使い昔ながらの方法で稻刈りを行います。刈り取った稻は、4~6束をひとまとめにし、大きな束をつくります。刈り取りが終わったら、「みはらしの里」に移動。竹や木で組んだ“おだ”に束にした稻穂を掛け、天日干しにします。

■日時:9月26日(土) 10:00~12:00 ※雨天延期(9/27) ■場所:沢田湧水地、みはらしの里畑
 ■申込:事前申込(TEL:029-265-9001) ■定員:20名 ■参加費:無料
 ■受付:沢田湧水ネイチャーハウス ■協力:砂丘美化パートナー



生き物のすみかとなる水田(2020年6月24日撮影)

◆生物多様性の要となる水田

戦前、沢田湧水地にあったとされる水田を復元しました。生き物にすみかを提供することが目的のため、農薬は使用しません。開けた水面ができることにより、トンボやカエルの産卵場所になるなど、沢田湧水地の生態系の維持に貢献しています。



おだ掛けと古民家(2019年9月28日撮影)

◆日本の原風景をつくる参加型アート

「なつかしい村の風景と活動」をテーマに、江戸時代から昭和にかけての農村風景を再現している「みはらしの里」。東日本最古級の古民家を背景に、稻穂を乾燥させる昔ながらの「おだ掛け」を行うことで、秋の農村風景が完成します。

Information

4ヶ所の花畠で4品種、約33万本のキバナコスモスをお楽しみいただけます。

公園公式SNSもご覧ください。



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>